



「国の言いなりの県政変えたい」 県知事選に草野芳明さん立候補



「みんなで新しい県政をつくる会」は、10月30日の県知事選挙に郡山地方労連副議長の草野芳明さんを擁立すること発表。草野さんは、高校の統廃合、原発や汚染水の海洋放出問題での内堀知事の対応を批判。「国のいいなりになっている県政の流れを変えたい」と決意を述べた。郡山市生まれの66歳。県立高校で定年退職まで社会科教師を務める。県立高教組専従役員を務めるなど労働組合運動にも奮闘。現在は郡山地方労連副議長。「平和のための戦争展・岩瀬須賀川」実行委員会代表も務める。須賀川市在住

県知事選、社民は内堀氏支援せず 処理水放出など姿勢考慮

社民党県連は現職の内堀雅雄氏を支援しない方針を決めた。社民県連の狩野光昭代表は27日、福島市で開かれた立憲民主党県連や国民民主党県連、県議会会派の県民連合、連合福島の4者をつくる「5者協議会」の会合で方針を伝えた。社民県連は各総支部の意見を集約した結果、内堀氏が東京電力福島第1原発で発生する処理水の海洋放出や、岸田文雄首相が打ち出した原発の新增設を検討する方針に反対する姿勢を示していないとし、支援は困難と判断した。(民友 9/28)

国葬反対の声響く 全国、県内各地でアクション 9/27

岸田政権の安倍国葬強行に対して、国会議事堂前の1万5千人をはじめ、全国で反対と抗議の声が渦巻いた。福島県内各地でもスタンディング行動などがこれまでにない参加で取り組まれた。このうち、国葬に参加した品川市長への抗議を含め郡山市役所前での午後1時半から2時半の集会には100人が集まり、バナーやプラカードを掲げて「国葬反対」「品川市長は参列やめよ」の声を1時間にわたってあげた。



県知事・市長村長の国葬参加、公費支出をやめよ！

前日の26日には。ミナセンなかどおりとして記者会見を行い、「品川市長らの国葬出席」及び「公費支出」を止めること、また、郡山市議会での非核三原則堅持意見書否決の撤回などを求めた。

第29回ミナセンなかどおり相談会

10月5日(水)午前10時～郡山教組会館

「県知事選のとりくみ」「統一協会自民党癒着・「非核3原則否決問題」等